

pick-up contents on this issue

P1 特集

「学園理事長 INTERVIEW」

P2

Campus Archive

キャンパス・アーカイブ 2017年1月～2017年9月までの出来事

P3

Way to go!

P4

University & College News 学部・学科ニュース

P5

事業概要報告

P6

My Life My Story

多くの方が感じていらつしやることだと思いますが、キャンパス内で学生とすれ違うたび、本当に元気にあいさつしてくれて、これはやはり感動ものです。また、私は毎日のように学食でお昼をいただくので、近くに座った学生との会話を楽しんでいま

理事長就任にあたり、現在の心境をお聞かせください。
6月に就任した際、教職員のみならずにはお伝えしたのですが、あらためて「学生第一」という基本を大切に考えています。一昨年、専務理事として本学園に迎えていただいたから、鎌田昌市前理事長と話し合い、理事長室と専務理事室の壁には「First of all, We have to think about our students.」という標語を掲げました。要するに「学生第一」ですね。学園運営における多様な課題をどのように解決すべきかを判断するときに、それは学生のためになるのかという視点を忘れないようにしなければなりません。少し大変でも、それが学生の成長のためならばしっかりと押さえながら歩んでいきたいと思っています。



そのほか、この2年間で本学について感じられたことを教えてください。
学園創設から今年で78年経ち、これまで学園全体で7万6000人の卒業生を輩出してきました。これは中堅どころの市と同規模の人数です。多くの卒業生が道内をはじめ国内、海外のさまざまなフィールドで活躍されていることを知るたび、誇りを感じています。そして、在学生も卒業生も、とても活動的な印象があります。実のところ、私の師も本学短大の2期生だったので、70代となった今も現役で働いているとても活動的な人です。

「まさに「建学の精神」に通じる部分」と言えそうです。
そうですね。北海道レスメーカークラスに端を発する本学園の建学の精神は、「女性の社会的地位の向上を目的し、女性にふさわしい職業的技術と幅広い教養を身につけた、自立できる社会人の育成」です。その後、短大や大学が開学し、男女共学となった今、これを時代に合わせて解釈し、説明するべきではないかというところで、今年3月の理事会で今日の定義を決めました。常に変化を社会に向かつて真摯にかつ創造的に対応できる人材の輩出を目指し、より高い専門性と幅広い教養を身につけた、自立できる社会人の育成というものです。

現代の情報技術は日進月歩であり、最近ではAI(人工知能)に関する話題もよく見聞きするようになっています。あらゆる分野において多くのことをコンピュータが担うなか、人間は知識の詰め込みだけでは太刀打ちできない時代なんですね。知識偏重だった大学入試も、これからは思考力、判断力、表現力が問われる内容へとシフトしてきます。本学園でも、自由な発想で白紙のキャンパスに絵を描き、それを現実のものとしていく力を持った人材を育てていきたいと考えています。



これまでも本学園の教職員のみならず、個別ではなくチームワークで学生を指導してこられたと思います。教員と事務職員が学生の情報を共有しながら、個々に寄り添った教育を展開しています。この姿勢を今後も貫き、学生一人ひとりが求める将来に向けたサポートを行ってほしいと思います。
また、私自身は理事長としてしっかりとタクトを振り、教職員や役員と

「愛と和と英知」
学校法人浅井学園は、人間関係の基本として大切な「愛」と「和」を教育理念に掲げて70年の歴史を刻んでまいりました。近年、大学としてさらに「英知」を加え、確かな知識に裏打ちされた教育の拠点を目指しています。

「愛と和と英知」
学校法人浅井学園は、人間関係の基本として大切な「愛」と「和」を教育理念に掲げて70年の歴史を刻んでまいりました。近年、大学としてさらに「英知」を加え、確かな知識に裏打ちされた教育の拠点を目指しています。



学生第一。すべてはそのために。

今年6月1日に就任した本学園の青木次郎理事長。一昨年から専務理事として学園運営に携わり、満を持しての就任となりました。青木理事長が見つける学園の現在と未来についてお話を伺いました。

最後に、卒業生の方そして在学生の保護者の方に向けてメッセージをお願いします。
先ほども申し上げたとおり、本学園には7万6000人の卒業生がいます。この大きなコミュニティの一員としての誇りを持ち、健康第一でいっそう活躍されることを願っております。在学生は、そんなみなさんの背中を見ながら学問や部活動に励んでいます。保護者の方々には学費などのご負担をいただいておりますが、それに見合う力をつけていただければと思います。教員、職員、役員が力を合わせて頑張りますので、お子さまの成長を楽しみにしていただければと思います。また、学園に対するご質問やご意見などがございましたら、本紙にも連絡先が記載されておりますので、遠慮なくお伝えください。みなさまとご相談しながら、よりよい学び舎にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

建学の精神 (今日的定義)
「常に変化する社会に向かつて真摯にかつ創造的に対応できる人材の輩出を目指し、より高い専門性と幅広い教養を身につけた、自立できる社会人の育成」
本学園の建学の精神「女性の社会的地位の向上を目指し、女性に相応しい職業的技術と幅広い教養を身につけた、自立できる社会人の育成」は、1939年(昭和14年)、本学園の母体となった北海道レスメーカークラス学園創立時に定められたものです。この建学の精神は、自立の手段に限られ、狭い社会に閉じこめられていた女性に職業的技術と教養を身につけることを目指すという、当時としては、「時代を先取りした精神」をもっていました。その後、社会は大きく変わり、今日、高等教育機関には、男女を問わず一人ひとりが人間として幅広い教養を身につけ、自立的な社会人を育成していくことが求められています。

Campus Archive

キャンパス・アーカイブ 2017年1月～2017年9月までの出来事



平成29年度 入学式を執り行いました

4月5日(水)、北翔大学大学院・北翔大学短期大学部の入学式が、北翔大学第一体育館にて執り行われ、大学院14名、大学451名、短期大学部161名、編入学10名の計636名が、希望を胸に本学の門をくぐりました。

西村弘行学長は式辞にて、自ら歩む「自立心」と、社会で生き抜くために自らを律する「自律心」を修得してほしいと述べ、そのために講義だけでなく、クラブ活動やボランティア活動などにも積極的に参加し、さらに友人との楽しい学園生活を謳歌してほしいという言葉を送りました。



1年次入学生

大学院	14名	短期大学部	ライフデザイン学科	34名
生涯スポーツ学部	スポーツ教育学科	199名	こども学科	127名
	健康福祉学科	28名		
教育文化学部	教育学科	142名	編入学生	
	芸術学科	33名	生涯スポーツ学部	2名
	心理カウンセリング学科	49名	教育文化学部	8名

廣田修平准教授が

「ほっかいどう未来チャレンジ基金事業」に採択され、北海道PRアンバサダーに任命されました

生涯スポーツ学部スポーツ教育学科の廣田修平准教授(北翔大学体操競技部顧問)が北海道の事業「ほっかいどう未来チャレンジ基金事業」の第1期生として採択されました。「ほっかいどう未来チャレンジ基金事業」は、少子高齢化や人口減少、外国人観光客の増加、道産食品の輸出拡大など、昨今の北海道を取り巻く社会情勢の大きな変化に柔軟に対応していくためのグローバルな人材を育成するという趣旨の北海道をあげた新しい事業です。

廣田修平准教授は、アメリカの体操競技指導システムや国際的なコーチングスキルを学ぶため、アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市で4か月のコーチング研修を行う予定です。

7月6日(木)に北海道庁にて高橋はるみ北海道知事より「ほっかいどう未来チャレンジ基金」助成対象者証を授与され、北海道PRアンバサダーの委嘱を受けました。北翔大学では廣田修平准教授の海外研修、今後の活躍を応援していきます。

また、本学大学院修士課程を修了し、現在は「車椅子ソフトボールの日本代表監督」として競技の普及に努めている齊藤雄大さんも、同事業に採択されました。今年8月から12か月間、アメリカ合衆国のテキサス州とアラバマ州で研修に取り組みしています。

アメリカは障がい者スポーツの先進国。斎藤さんは、その指導プログラムや練習方法などに直接触れるためのスキルを習得する予定です。「私の目標は北海道に障がい者スポーツの拠点を築くこと。今回の海外研修を大きな一歩にしたいと考えています」と意気込みを語っています。

北海道と北翔大学・北翔大学短期大学部と北海道は、5月30日(金)に包括的な連携のもと相互に協力し、北海道のスポーツ及び教育文化の振興や人材育成、地域社会の発展に寄与することを目的として包括連携協定を締結しました。

本学は、これまでも道が設置する委員会等に数多く参画しており、これを機に、今後は北海道との連携をより進めていきたいと考えています。

調印式では、高橋はるみ知事は「北翔大学の知見や教育資源などを北海道の発展・活性化に活かしたい。」と述べられ、西村学長からは「本学の特色ある教育を北海道の様々な地域に還元し、実績のある協定となるよう取り組みたい。」と述べられました。

包括連携協定を締結し、調印式を執り行いました

調印式では、高橋はるみ知事は「北翔大学の知見や教育資源などを北海道の発展・活性化に活かしたい。」と述べられ、西村学長からは「本学の特色ある教育を北海道の様々な地域に還元し、実績のある協定となるよう取り組みたい。」と述べられました。



第72回全道展に入選しました

第72回全道展で本学4年の村田アグネス彩さんの絵画作品が入選しました。全道展は歴史のある一般美術公募展で、入選するには、しっかりと描画力や表現力が必要とされます。村田さんは、150号という大画面キャンバスにチャレンジしました。毎日こつこつと描き続け、昨年引き続きの入選です。また、今年3月に本学を卒業し、現在福祉関係の会社で働いている中山智絵さんも、昨年に引き続き入選しました。作品は6月14日(水)から25日(日)まで、札幌市民ギャラリー(中央区南2東6)で展示されました。



「入選」村田アグネス彩さん
「milk」F150
キャンバスにアクリル絵具他

株式会社シーエスイーと産学連携協定を締結しました

北翔大学・北翔大学短期大学部とICカードリーダーなど業務用端末の製造販売やシステム開発を行っている株式会社シーエスイー(本社:愛知県あま市)代表取締役社長(河本正晴)は、開発や新規事業の創生、人材交流、教育および人材育成等の分野で連携していくことを目的として、6月23日(金)に産学連携協定を締結しました。

本学は以前より、株式会社シーエスイーと協同で出席管理システムの開発を行っており、協定締結を機に、システムの開発や技術および人材交流などを進めています。

調印式で河本正晴社長は「双方が協力し、多くの教育機関で利用できる端末として汎用性のあるシステムの開発を目指したい」と述べ、西村弘行学長は「教育で活用できる発展したシステムの開発を行い、教育の充実かつ教員・事務職員の負担がより軽減できるシステムを提供したい」と述べました。



平成29年度 国際交流講演会を開催しました

6月12日(月)に、今年度の国際交流講演会を開催しました。来場者は学生、教職員や一般市民など、200名近くの方が参加されました。

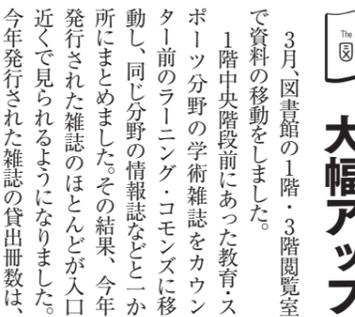
今年の講演会は、富良野市出身で、西アフリカ・ブルキナファソの初代野球選手として普及活動を行い、また、北海道ベースボールアカデミーの代表理事でもある出合祐太さんをお招きし「ブルキナファソから学ぶ『自己実現力』」と題して、お話しいただきました。

2008年から2010年まで青年海外協力隊員として、西アフリカ・ブルキナファソにて野球指導と普及活動を行い、2010年、帰国後、富良野市にてパン製造販売店を開業し、その傍ら、NGOを設立し、同国の野球普及活動の継続をされています。

2013年からは、現地の選手20名を北海道へ招聘し、野球研修プログラムを実施し、これまでに2名の選手を国内の独立リーグへと輩出しています。

2016年には国籍を問わずプロ選手を育成する一般社団法人北海道ベースボールアカデミーを設立し、選手個人を育成することとに特化したプロセスを提案し、地域活性化事業と合わせた、新しいスポーツの形を目指し日々活動中です。

また、スペシャルゲストとして、ブルキナファソ出身で、2人目のプロ野球選手サブ・レジーニオ選手にも来ていただき、本学学生とのフットワークを通じて交流しました。



1COIN朝食週間 ボリューム&栄養満点の朝食を1000円で!

江別地区の4大学が毎年春秋に実施している「食生活改善運動(1COIN朝食週間)」。学生の健康的な暮らしを支える活動の一環として、朝食を食べる習慣を身につけてもらうために企画され、毎回好評を得ています。今春は5月24日(水)～26日(金)の3日間、PAL4階の食堂にて、毎朝150食を1000円で提供しました。

1Coin 朝食週間 day1 5/24
野菜たっぷり朝食
朝食にカレーはパワーの源! 栄養満点で、脳も体も活性化!

1Coin 朝食週間 day2 5/25
あったか朝食
鶏と青菜のだし茶漬けで朝から体があったか! たっぷり食べて免疫カアップ!

1Coin 朝食週間 day3 5/26
おなかすっきり朝食
豆腐と鶏そぼろ丼で、今日も元気にパワーアップ!

5月24日～5月26日の3日間で開催された「2017春の食生活改善運動:朝食週間」が無事終了いたしました。早朝から準備にご協力いただきました食堂スタッフの皆様、大変ありがとうございました。

移動したら貸出数 大幅アップ

3月、図書館の1階・3階閲覧室で資料の移動をしました。

1階中央階段前にあった教育・スポーツ分野の学術雑誌をカウンター前のラッキング・コモンズに移動し、同じ分野の情報誌など一か所にまとめました。その結果、今年発行された雑誌のほとんどが入口近くで見られるようになりました。

4月から7月の4か月間で205冊。前年度と同じ時期(157冊)より約30%増加しました。

3階は書架を増設し、幼児教育と料理に関する図書を移動しました。エレベーター前に移動した料理本(56冊)の約2倍でした。

使いやすさを考えた移動でしたが、期待以上の結果になりました。レポート・論文準備の文献を選んだら、お腹に優しい夜食のレシピ本も一緒にどうぞ。





菊地菜摘(教育文化学部4年)、岩花優果(生涯スポーツ学部2年)、高橋涼(生涯スポーツ学部2年)、家城みこと(生涯スポーツ学部2年)

D:ダブルス、S:シングルス	
1試合目 対北海道大学医学部(3-2)	
D1:6-3、6-3 勝ち	D2:6-4、6-3 勝ち
S1:2-6、4-6 負け	S2:6-1、6-2 勝ち
S3:1-6、0-6 負け	
2試合目 対北海道大学(4-1)	
D1:6-3、6-4 勝ち	D2:2-6、2-6 負け
S1:6-3、6-2 勝ち	S2:4-6、6-1、6-1 勝ち
S3:6-1、6-4 勝ち	
3試合目 対旭川医科大学(3-2)	
D1:6-2、6-1 勝ち	D2:2-6、3-6 負け
S1:6-1、6-0 勝ち	S2:6-2、6-3 勝ち
S3:5-7、0-6 負け	

全日本大学対抗テニス王座決定試合北海道予選 1部女子で全勝優勝!

昨年度、高校から全国大会等に出場している選手が一人しかおらず、残りのメンバーは全道大会等の出場経験があるかないかの戦力で、同大会に挑み結果3位となりました。新しい1年生も入らないうち、1年間しっかり技術練習やトレーニングを実施し再び挑戦した結果、全勝優勝となりました。学生に、努力の先の成功体験を経験させることができたことを誇りに思います。頑張った練習を、実施した選手に感謝とともに、この成功体験を、来年以降の練習に活かすことを期待しています。また、男子部員の応援もとても力になりました。部活動として

男女ともに活動している分、女子部員にも大きな力となりました。大学テニスの大会においては、主な全国大会はインカレ(個人シングルスまたはダブルス)とインカレインドア(同種目)と、この団体戦のみですが、今年はその3つのうち2つの大会に出場する予定となりました。インカレインドアも9月の大会で優勝者となれば出場できるので、引き続き指導をしてまいります。

テニス部



Way to go! Club, Circle and Other Activities
クラブ・サークル・学生たちの活躍

第69回北海道学生陸上競技対校選手権大会 女子6年連続49回目の総合優勝!

5月12日(金)〜14日(日)に札幌市厚別公園陸上競技場にて第69回北海道学生陸上競技対校選手権大会が行われました。今年も、女子が6年連続49回目の総合優勝を飾りました。男子は総合4位で、フィールド総合1位を獲得しました。そのうち種目優勝は男子3種目、女子10種目でした。これらの選手と標準記録突破者が9月に福井県福井市で開催される日本インカレに出場します。



種目優勝 男子	種目優勝 女子
800m 酒井健吾(スポーツ教育学科4年、帯広農高出身) 1分58秒23	100m 西本亜海(スポーツ教育学科3年、恵庭北高出身) 12秒23
三段跳 今野勇太(スポーツ教育学科4年、恵庭南高出身) 14m87	200m 天野小春(健康福祉学科3年、旭川大高出身) 25秒49
砲丸投 五十嵐宜弘(スポーツ教育学科2年、静内高出身) 14m56 大会新	400m 岡部唯香(教育学科4年、恵庭北高出身) 58秒20 予選大会新
	800m 岡部唯香(教育学科4年、恵庭北高出身) 2分18秒15
	3000m 陽香 明 紗弓(スポーツ教育学科4年、函館白百合高出身) 11分31秒49
	400mハードル 島海菜々美(教育学科4年、札幌日大高出身) 1分06秒10
	400mリレー 山田桃子-西本亜海-天野小春-野呂真愛 48秒23
	1600mリレー 武田美里-野呂真愛-天野小春-岡部唯香 4分03秒52
	走幅跳 西本亜海(スポーツ教育学科3年、恵庭北高出身) 5m66
	三段跳 吉田亜紗美(スポーツ教育学科4年、旭川西高出身) 10m97

2大会で優勝!

5月21日(日)、28日(日)に札幌市内で札幌市長杯兼国体選手権大会(6月1日(木)〜4日(日)まで)張市にて北海道大学バスケットボール春季選手権大会が行われました。結果を報告させていただきます。温かいご声援・ご支援ありがとうございました。今後とも、女子バスケットボール部を宜しくお願いいたします。



札幌市長杯兼国体選手権大会優勝(2連覇)	
21日(日)	3回戦 VS 札幌大学 67-52
	準決勝 VS DREAM 84-69
28日(日)	決勝 VS Thirty Girls 76-63

北海道大学バスケットボール春季選手権大会優勝(2連覇)	
2回戦	VS 北星学園大学 134-26
3回戦	VS 札幌学院大学 109-62
準決勝	VS 拓殖短期大学 86-50
決勝	VS 札幌大学 58-55

個人賞	
最優秀選手賞	小澤 彩佳(スポーツ教育学科4年)
優秀選手賞	太田みなみ(スポーツ教育学科3年)

女子バスケットボール部

5月21日(日)、28日(日)に札幌市内で札幌市長杯兼国体選手権大会(6月1日(木)〜4日(日)まで)張市にて北海道大学バスケットボール春季選手権大会が行われました。結果を報告させていただきます。温かいご声援・ご支援ありがとうございました。今後とも、女子バスケットボール部を宜しくお願いいたします。

女子ダブルス	
優勝	石澤未夢(健康福祉学科4年)・塚本あゆみ(スポーツ教育学科4年)
準優勝	関根千弥(教育学科3年)・三島由里(ライフデザイン学科2年)
3位	池田由希(健康福祉学科3年)・矢上璃奈(スポーツ教育学科3年)
4位	齊藤佳奈(スポーツ教育学科4年)・西村ゆり香(教育学科1年)

女子シングルス	
優勝	齊藤佳奈(スポーツ教育学科4年)
準優勝	石澤未夢(健康福祉学科4年)
3位	三島由里(ライフデザイン学科2年)

男子ダブルス	
優勝	吉村海二(健康福祉学科4年)・遠藤真彦(スポーツ教育学科1年)
準優勝	笠谷修吾(スポーツ教育学科4年)・片桐悠輔(ライフデザイン学科2年)
3位	岡村尚輝(スポーツ教育学科4年)・佐藤一生(スポーツ教育学科4年)
4位	松浦頌成(教育学科4年)・高木健心(スポーツ教育学科1年)

男子シングルス	
優勝	岡村尚輝(スポーツ教育学科4年)
準優勝	笠谷修吾(スポーツ教育学科4年)
3位	吉村海二(健康福祉学科4年)
4位	遠藤真彦(スポーツ教育学科1年)

ミックスダブルス	
優勝	北本亮輔(教育学科3年)・若林杏佳(スポーツ教育学科3年)
準優勝	外間翔(スポーツ教育学科1年)・三島由里(ライフデザイン学科2年)
3位	佐藤一生(スポーツ教育学科4年)・比嘉満希美(スポーツ教育学科4年)
4位	岩下直樹(ライフデザイン学科2年)・矢上璃奈(スポーツ教育学科3年)

第66回北海道学生バドミントン選手権大会 第3回全日本学生ミックスダブルス選手権大会北海道予選会 全部門で表彰台を独占!

6月1日(木)〜4日(日)まで第66回北海道学生バドミントン選手権大会兼、第3回全日本学生ミックスダブルス選手権大会北海道予選会の白熱した戦いが行われました。また、8月25日(金)〜9月1日(金)に第60回東日本学生バドミントン選手権大会が開催され、石澤未夢、塚本アヤが創部以来初となる東日本大会での個人種目優勝を成し遂げ、新たな歴史を刻みました。この勢いを秋学期リーグ戦や全日本学生選手権に活かし、チーム一丸となって挑んで参ります。今後とも、バドミントン部への熱い声援を宜しくお願いいたします。

女子ダブルス	
優勝	石澤未夢(健康福祉学科4年)・塚本あゆみ(スポーツ教育学科4年)
準優勝	関根千弥(教育学科3年)・三島由里(ライフデザイン学科2年)
3位	池田由希(健康福祉学科3年)・矢上璃奈(スポーツ教育学科3年)
4位	齊藤佳奈(スポーツ教育学科4年)・西村ゆり香(教育学科1年)

女子シングルス	
優勝	齊藤佳奈(スポーツ教育学科4年)
準優勝	石澤未夢(健康福祉学科4年)
3位	三島由里(ライフデザイン学科2年)

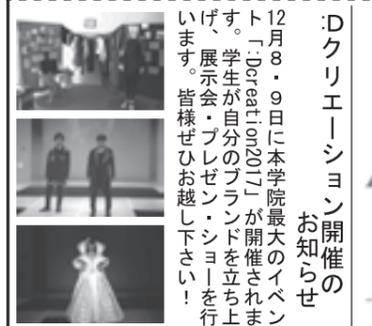
男子ダブルス	
優勝	吉村海二(健康福祉学科4年)・遠藤真彦(スポーツ教育学科1年)
準優勝	笠谷修吾(スポーツ教育学科4年)・片桐悠輔(ライフデザイン学科2年)
3位	岡村尚輝(スポーツ教育学科4年)・佐藤一生(スポーツ教育学科4年)
4位	松浦頌成(教育学科4年)・高木健心(スポーツ教育学科1年)

男子シングルス	
優勝	岡村尚輝(スポーツ教育学科4年)
準優勝	笠谷修吾(スポーツ教育学科4年)
3位	吉村海二(健康福祉学科4年)
4位	遠藤真彦(スポーツ教育学科1年)

ミックスダブルス	
優勝	北本亮輔(教育学科3年)・若林杏佳(スポーツ教育学科3年)
準優勝	外間翔(スポーツ教育学科1年)・三島由里(ライフデザイン学科2年)
3位	佐藤一生(スポーツ教育学科4年)・比嘉満希美(スポーツ教育学科4年)
4位	岩下直樹(ライフデザイン学科2年)・矢上璃奈(スポーツ教育学科3年)

手づくりフェスティバルポスター・チラシイラストデザイン佳作受賞

10月13・14日に開催される手づくりフェスティバルポスター・チラシイラストデザイン佳作受賞コンテストにファッショントータルデザインが佳作に選ばれました。



ライラック祭りに参加!

第59回さっぽろライラック祭りが5月17・18日まで開催されました。本学院生もライラック娘として参加し、昨年にニューラルされた衣装でお祭りを盛り上げました。



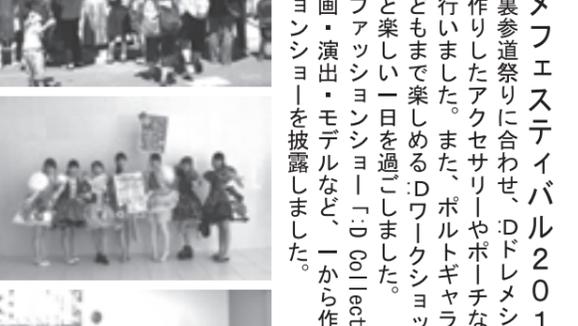
20歳が輝くドレスデザインコンテストでサツコレ受賞!

ブライダルハウスロビーが主催する「20歳が輝くドレスデザインコンテスト」にて、専攻科前川原由妃さん(写真)の作品がサツコレ賞を受賞しました。



「命を守る」第1弾 学内学生団体「救急対応AED講習会」を実施!

5月29日(月)、学内学生団体を対象とした救急対応AED講習会を実施しました。「命を守る」をテーマに事故・急病発生時の救急対応と、学内AEDの設置場所を確認。また、実技講習は(株)ノーパリス社社メディアカル事業部と本学トレーニング部の指導による、救急救命処置の初期対応や心肺蘇生(胸骨圧迫)とAED操作を講習いたしました。これを機に、本学の学生が生命の尊厳と命を守るため何ができるかを真剣に考え、緊急時に適切に行動できる力となっていく事を強く期待いたします。



「Dクリエイション」開催のお知らせ

12月8・9日に本学院最大のイベント「Dcreative2017」が開催されます。学生が自分のブランドを立ち上げ、展示会・プレゼン・ショーを行います。皆様ぜひお越し下さい!

ドレメカルチャー スクール開講中!

洋服や小物作りに挑戦してみませんか? イベント衣装製作や、子供服製作、洋服リメイク、小物作りなど、目的やスケジュールに合わせて通い方が可能です。週3日の午前・午後と自由に選んで通うことができます。



D 北海道ドレスメーカー学院
Hokkaido Dress Maker College
〒064-0801 札幌市中央区南1条西22丁目1番1号 6F
TEL.011-618-1939 FAX.011-618-1940 (平日 9:00-17:00 土日 9:00-13:00 日祝 定休)
koho@doreme.ac.jp http://www.doreme.ac.jp/

学校法人の概要

Table with columns: 設置学校・学部・学科等の名称及び学生・生徒数, 平成29年5月1日現在 (単位:人), 入学定員, 入学者数, 編入定員, 卒業者数, 収容定員, 在学学生数. Includes data for Hokusho University and various departments.

Table with columns: 役員数, 平成29年5月1日現在 (単位:人), 常勤, 非常勤, 計. Lists roles like 理事長, 理事, 監事.

Table with columns: 教員・職員数, 平成29年5月1日現在 (単位:人), 北翔大学, 北翔大学短期大学部, 北海道ドレスメーカー学院, 合計. Lists various staff positions like 校長, 教授, 講師.

詳細につきましてはホームページをご覧ください。http://www.hokusho-u.ac.jp

8. その他の業務運営に関する事項
●耐震基準を満たしてはなかった3号棟・4号棟の耐震改修工事を行い、平成28年11月末に竣工引渡を受け、引き続き1号棟及び第2体育館の耐震改修工事の検討に着手した。また、各種突発的アスベスト成分分析調査を行い、異常の無い旨を確認した。校舎施設関連では1号棟増築棟及び4号棟屋上の防水シート更新工事を実施したほか、校内消防用設備の屋内外消火栓ホースの取替、4号棟のガス配管改修工事を実施した。

1. 教育研究活動に関する事項
【教育活動】
①北翔大学・北翔大学短期大学部
●大学の完成年度を控えたカリキュラムの展開等について適正な運用を図った。また、シラバスについては、科目間格差の是正やアクティブラーニングの可視化、単位制度の実質化に向け記載内容の検証・改善を行った。生涯スポーツ学部の教育課程の適正な展開をはじめ、地域貢献などにも積極的に取り組み、カリキュラムポリシーの実現を図った。教育文化学部では、完成年度を控え、教育課程の順序性が見える形で日々の教育研究活動が遂行されることとなり、3つのポリシーをさらに具現化するよう取り組んだ。また、短期大学部は、従来の3つのポリシーを、様々なツールへの掲載を含めて具現化に努めた。

【研究活動】
●人間福祉学研究所では、臨床心理学センターにて8月に、北翔大学情報センターにて開催された「北翔大学研究発表会」に参加した。また、生涯スポーツ学研究所との連携により、同センターの研究活動時に、福祉を地域住民の体質改善を含んだ研究活動に積極的に参加させた。

3. 学生支援に関する事項
●キャリア支援センターでは、就業力養成のためのキャリア教育科目の展開、就職セミナーでは、就職採用検査対策の実施、地域連携センターでは試験対策及び資格取得のための講座などを実施した。平成28年度就職率(就職希望者に対する就職決定者)は、大学96.5%(前年度94.2%)、短期大学部97.1%(前年度98.4%)であった。

4. 学生確保に関する事項
●全4回のオープンキャンパスを周知するため、各回に合わせてCM、新聞・ポスター等による告知、ライブインビデオシミュレーションカードの発行、在学生によるメッセージカードを送付した。また、子ども学科は単独で2回開催し、それを合わせて合計1,352名(昨年同様1,335名)がオープンキャンパスへ参加した。

2. 社会交流・地域貢献等に関する事項
●4市(赤平市・芦別市・江別市・幌町)4町(栗山町・長沼町・南幌町・由仁町)などとの連携により実施する地方創生事業(学生地域定着支援)では、67プログラムが実施され、参加市町村に延べ54名の学生ボランティアを調整・派遣した。

5. 同窓会との連携に関する事項
●現職教員研修会、卒業生交流会、研修会等、及び保育士資格取得特例講座を開催し、卒業生のフォローアップ・キャリアアップを図った。

6. 運営・管理及び財務の改善及び効率化に関する事項
●平成23年に策定された10年間の「長期ビジョン」及び5年間の「第2次中期計画」を目標として教育改革、運営改善に努めた。平成27年度中期計画の実施状況を検証し、長期ビジョンの一部修正を検討し、それを踏まえ、長期ビジョンに基づく平成28年度から5年間の新たな中期計画(第3次中期計画)を策定した。

7. 点検評価・情報公開に関する事項
●短期大学の第三者評価について、平成28年9月8日(9日)に訪問調査が行われ、評価機関である短期大学基準協会から一本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成29年3月10日付けで適格と認めるとの通知を受領した。

予定者全員が発表を終えることができ、全員が審査を「合格」で通過した。基礎となる学部・学科の再編に伴う研究科の教育課程再編の課題を探るため、研究科としての将来構想に関する検討を行い、大学院全体の将来構想及び大学院全体の広報の係の中で考える必要がある。継続して検討することとなった。

3. 学費改組の完成年度にあたり、3コースについて、2次に専門性の高い分野へのカリキュラムの編成を予定通り実施した。毎年恒例で行われてきたモッドコレクション、並びに卒業・進級展示会のある方を見直し、既存学科について、従来通りモッドコレクションを行い、更に、卒業・進級展示会の審査会の作品発表としてモッドコレクションを2日間に渡り開催した。

5. 同窓会との連携に関する事項
●現職教員研修会、卒業生交流会、研修会等、及び保育士資格取得特例講座を開催し、卒業生のフォローアップ・キャリアアップを図った。

7. 点検評価・情報公開に関する事項
●短期大学の第三者評価について、平成28年9月8日(9日)に訪問調査が行われ、評価機関である短期大学基準協会から一本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成29年3月10日付けで適格と認めるとの通知を受領した。

平成28年度決算概要 学校会計と企業会計の相違点

学校法人とは、学校教育法及び私立学校法の定めにより、私立学校の設置を目的に設置された法人です。学校法人は、設置学校を運営し教育・研究活動を行うことを目的とする公共性の高い法人であり、営利を目的とする企業とは異なります。
企業会計は収益と費用からその経営成績を知ることになりますが、学校法人会計は計算書類によって財務の面から教育・研究活動が円滑に遂行されたか否かを知ることになります。公共性の高い学校法人が、教育・研究活動を継続して行い永続的に存続していくためには、財務状況を正確に把握し、健全な経営をしなければなりません。そのため学校法人の会計処理については、私立学校振興助成法において、国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は「学校法人会計基準」に従い会計処理を行い、計算書類を作成し、公認会計士または監査法人の監査報告書を添付して所轄庁(文部科学省)へ届け出なければならないことになっています。学校法人会計基準では、「資金収支計算書」「活動区分資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」の各計算書類の作成が義務づけられています。

Table with columns: 資金収支計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで), 収入の部, 支出の部. Includes detailed financial data for the fiscal year.

Table with columns: 貸借対照表 (平成29年3月31日), 資産の部, 負債・純資産の部. Includes balance sheet data and pie charts showing asset composition (有形固定資産 66.3%, 流動資産 24.4%) and liability composition (固定負債 8.5%, 流動負債 5.4%).

事業活動収支計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

事業活動収支計算書とは、本業である「教育活動」、財務活動に関する「教育活動外」、資産の売却及び処分に関する「特別」の三つの活動区分ごとの収支の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにし経営状況を表すもので、企業会計の損益計算書と類似しています。
平成28年度の事業活動収支は、経常収支差額と特別収支差額を合計した基本金組入前当年度収支差額は、1億5千3百万円となり、予算額よりも1億1千万円増加しました。基本金組入後の当年度収支差額は、1億3千2百万円の支出超過となりましたが、予算額よりも9千7百万円支出超過額が減少し、翌年度繰越収支差額も支出超過額が減少しました。

Table with columns: 事業活動収支計算書 (単位:千円), 事業活動収入の部, 事業活動支出の部, 事業活動収入の構成, 事業活動支出の構成. Includes detailed financial data and pie charts showing revenue composition (学生生徒等納付金 81.9%) and expense composition (人件費 57.3%).

Table with columns: 学校法人計算書類の主な科目説明, 資金収支・事業活動収支計算書に共通の科目, 資金収支計算書のみの科目, 事業活動収支計算書のみの科目, 貸借対照表のみの科目. Provides detailed explanations for various accounting items.

My Life 3 My Story

ひとの数だけ物語がある。

北翔大学 生涯スポーツ学部
スポーツ教育学科 教授
粥川 道子
Michiko Kayukawa

1952年 兵庫県神戸市出身
1975年 東海大学 体育学部を卒業
2000年 本学生涯学習システム学部助教授として着任

・所属学会
日本野外地学協会
日本レジャー・レクリエーション学会
日本生涯スポーツ学会

・社会活動
北海道キャンパス協会 会長
ネイチャープログラムデザイン 副理事長 など



神戸から北海道へ

私は神戸で育ちました。北海道暮らしも20年以上になりましたが、今でも関西弁で話すのが楽ですね。授業では大事な点を関西弁で伝えて注目してもらおうという特技を持っています(笑)

大学卒業後、本州の大学で助手としてキャリアをスタートし、その後はYMCAのスタッフとして神戸や札幌を拠点にキャンプレクチャーを務めていました。全国各地でキャンプレクチャーしながら、北海道は四季がはっきりしていて、きびしい自然もあり、いい所だなと思っていました。そんな折に本学と縁あって、2000年から教員としてこのキャンパスで過ごしてきました。

野外教育の魅力

この年はちょうど「生涯学習システム学部」が開設された年で、私は「健康プランニング学科」のレジャー・レクリエーション分野を担当する教員として着任しました。その数年後には、キャンプレクチャーとして「野外教育論」という科目が立ち上がり、さらには「野外教育実習」という実習科目も加わりました。2009年改組後の「生涯スポーツ学部スポーツ教育学科」では、先の2科目を含む野外教育関連の5科目を開講しています。本学科は中学校・高等学校の



保健体育教諭の養成も行っていますが、多くの実体験を通して生徒の力を引き出す野外教育は、教育の方法原理を学ぶうえでも、とても有効なんです。日高で毎年行っている3泊4日の実習では、上級生が下級生を指導します。教える側も学ぶ側も、さまざまな自分と出会い、それを肯定できる場面があるので、感動して泣いてしまう学生も多いんですよ。その様子を見て、私もとてもうれしい気持ちになります。

学生との関わり

実習のほかに、学生とはたくさんのお非日常な体験をしてきました。なかでも忘れられないのが、冬の黒松内に出かけた景色です。満月の夜、学生たちと雪深い林の中を歩いたんですね。1時間ほど進んだ場所に大きなブナの木

ピーパー教?

野外の話ばかりになってしまいましたが、もちろん教室でも授業をしています。ゼミでは1期生から一貫して、ドイツの哲学者ヨゼフ・ピーパーの『余暇と祝祭』という本を読んできました。余暇とは何か、レジャーとは何かについて綴られた本で、それらの専門家にとってはバイブルとして位置づけられている1冊なんです。



この中に「怠惰」という言葉が出てきます。一般的には「怠けてだらしない」という意味で使われ

まだまだ遊びたい!

さて、学生たちと真剣に「遊び」を学んできた私は、来年3月で定年を迎えます。本学で過ごした18年間は、いつも学生たちから刺激をもらい、すばらしい教員仲間とともに仕事ができ、本当に楽しかったです。これから、ここで出会った卒業生が成長していく姿に触れられることを楽しみにしています。

現役学生とは、北海道キャンパス協会の仕事などを通じてお会いする機会もあるでしょう。本学のますますの発展を願っています。私もますます自分らしく、遊びを究めていこうと思っています。

同窓会ニュース 後輩の熱くやさしい心に託して

6年前の東日本大震災、淑萃会は現地へのボランティアが年々減っていく中、私達は忘れていませんよのメッセージを込めて支援を続けています。最初の支援は夏休みを北海道で3年間、10日間の招待を大学にお願いする事で実施をして来ました。今は学生達が現地に行ったり、昼食は長沼ジンギスカン、釜石のよいさ祭りの裏方を引き受けますよ、当時の様子を直接お話を聞かせてもらいましたと、お役に立ちたいという思いで参加する後輩達がたくさん抱えきれない程の元気と勇気、達成感を貰って帰って来てくれます。

その報告を聞くたびに熱くやさしい心の後輩でいてくれてありがたうと思えます。これから淑萃会は旅費を出す事で後押しをさせていただきます。



第3回オープンキャンパス、部活動・サークル見学会開催

8月5日(土)・6日(日)に今年度3回目となるオープンキャンパスを開催しました。北海道内外から多くの高校生、保護者の方を迎え、学科相談、学食体験、キャンパスツアー、体験授業、AO入学対策講座など本学の魅力を在学生が中心となり存分に伝えることができました。

7日(月)は部活動・サークル見学会を開催。参加者は希望する団体の学生や顧問から活動内容や競技実績について説明を受け練習や活動風景を見学しながら、入部後のイメージを膨らませました。



高大連携ニュース 高大連携協定校の生徒が施設見学に訪れました

5月10日(水)に北海道月形高等学校の2年生23名、5月12日(金)に北見商科高等学校の1年生63名、6月22日(木)に北海道室蘭東翔高等学校1年生58名が施設見学に来てくれました。

西村学長や佐藤克之地域連携センター長から説明を聞き、本学への理解を深めました。また、図書館やスポーツ等の大学施設を見学し、充実した設備に感激していました。最後に施設見学恒例の学食体験として、学長推薦メニューを体験することができ、楽しい昼食の時間となりました。



入試日程	
AO入学制度 第2期エントリー期間	10月2日(月)～11月14日(火)
推薦入学制度 出願期間	11月1日(水)～11月8日(水)

平成30年度 北翔大学大学院・編入学試験のご案内			
大学院 第1期 入学試験			
出願期間	平成29年 9月25日(月)	～	10月10日(火) [必着]
選抜日	平成29年10月22日(日)		
合格発表日	平成29年10月29日(日)		
編入学 第2期 入学試験			
出願期間	平成29年11月6日(月)	～	11月20日(月) [必着]
選抜日	平成29年12月2日(土)		
合格発表日	平成29年12月10日(日)		
その他の入試日程はホームページでご確認ください			
お問い合わせ: アドミッションセンター TEL.011-387-3906 (直通)			

2018年10月～1月 [共通行事予定]	
10月	7日(土) 介護支援専門員実務研修受講試験(関係者以外立入禁止。体育施設を除く)
	21日(土) 大学院 第1期 入学試験 学内公開日
	22日(日) 大学院 第1期 入学試験 (7号棟・PAL棟立入禁止)
11月	18日(土) 推薦入学、社会人・帰国子女特別選抜入学試験 学内公開日(全構内立入禁止)
	19日(日) 推薦入学、社会人・帰国子女特別選抜入学試験(全構内立入禁止)
	23日(木) 通常講義日(勤労感謝の日)
12月	1日(金) 編入学 第2期 入学試験 学内公開日
	2日(土) 編入学 第2期 入学試験 (7号棟・PAL棟立入禁止)
	29日(金) 学校閉鎖(～1/3まで) 冬季休業日(12/28～1/4)
2018年1月	9日(火) 指定休日(11/23の振替休日)
	13日(土) 大学入試センター試験(全構内立入禁止)
	14日(日) 大学入試センター試験(全構内立入禁止)

北翔大学 寄付金募集のご案内

本学では、このところの経済不況により修学の継続が困難な学生が増加しており、学生への支援とあわせて、良質な教育環境を今後も維持していくために、寄付金を募集しています。

ご支援を賜りました寄付金は有効に活用させていただきます。有能な人材の輩出、社会に役立つ研究成果を通して、広く社会に還元し、貢献してまいります。

ご寄付をいただいた金額に税制上の優遇措置を受けることができますので、企業等法人及び個人の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

[寄付金 募集期間]
平成31年5月まで
(常時受入れさせていただきます)

[お問い合わせ]
総務部総務課まで
詳細は本学ホームページ
<http://www.hokusho-u.ac.jp>
をご覧ください。

御礼申し上げます

北翔大学ソフトテニス部OB会様より、ニオイヒバ26本植栽による現物寄付(259,200円相当)をいただきました(平成29年度)

北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科平成28年度卒業生一同様より、冷水器2台の現物寄付(344,520円相当)をいただきました(平成29年度)

ご支援を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。